

# 樹 姉 ば よ り

No.140  
2016.06



樹徳高等学校 大滝山荘 野外炊事場

## 慈 悲 喜 捨

陰曆では、六月を「水無月・みなづき」と言います。初夏から仲夏の季節にあたり、中旬には梅雨入り、下旬には一年中でもっとも昼の長い日、夏至が来ます。田植時で、麦が色づく麦秋の季節でもあるので、農家では最も多忙な月となります。

しかし、雨がたくさん降る時季を「水の無い月」というのはなぜなのでしょう。これについては、国語の先生から「水無月」は「水の月」と解釈すると教えていただきました。田植えが済み、田に水を張る必要があることから「水の月」「水無月」と呼ばれるようになったと言うことです。また、「水張月（みづはりづき）」「水月（みなづき）」と呼ぶ説や、文字通り、梅雨が明けて水が涸れてなくなる月であるという説、田植という大仕事を終えた月「皆仕尽（みなしつき）」であるとする説など多々あります。また、その前の五月は、「皐月（サツキ）」と呼ばれます。サツキのサは、「神霊」を表し、日本人は神霊が山から降りて来て田畑に宿り、作物にエネルギーを注いで育て、最後は山に帰って行くと考えてい

たということから神霊や稲霊の意味を持つということ。そのため、皐月は「神霊を植えた月」もしくは「神霊が田畑に来た月」という意味になるようです。そして、その次の月が前述した「水無月」となります。

外国では、六月の「JUN」だと、ローマ神話の結婚をつかさどる女神「JUNO」に由来して、この月に結婚する花嫁はきつと幸せになるだろう、という言い伝えがあります。また、「復活祭」が行われ、お祝いムードが広がるので、多くの人から祝福される六月の花嫁は幸せになるだろうという言い伝えもあるようです。

国によって、言い伝えや意味などは様々ですが、人々が、大自然や信ずるものに感謝し、敬ってきたことにかわりはありません。六月は、生徒たちが学校生活になれ、一層充実した日々を送るようになりま

す。心の中で、自然の恩恵に与っていることを再確認し、平穏な生活があることへの感謝を忘れず、一人一人が、自らの明日を見据えて、甲斐のある生活をしてほしいと思います。

教頭 金安伸一

# 呼吸を変えれば 人生が変わる

樹徳中学校・高等学校長

野口 秀樹



風薫る季節から、緑が深くなる恵みの雨の六月へ。大自然は、自らの目指すところへ真しつぐらであります。私達も同様に、前を向いて今月も進んでまいります。

春のビッグイベントであります高校総体。本校も、沢山の生徒が頑張りまして、多くの競技、種目で、優勝や、関東大会出場を決めました。

その中でも、今回は特に、陸上部男子が目立ちました。三年生の活躍が後輩達に火をつけたのでしよう、終わってみれば本校は、総合三位となりました。

「おめでとう！」

さらに、全国レベルの記録もいくつか出ております

ので、今後がさらに楽しみになりました。

さて、この度は「呼吸」についてお話しします。我々が毎日、無意識にしております、この「呼吸」という行為ですが、これが本当に大事なものであります。「陸上の短距離種目、百メートル走では、呼吸をせずに駆け抜ける」こんな話を聞いたことがあります。本当でしょうか。ともかく、呼吸はスポーツとも深く関係があることも間違いないでしょう。

私は若い頃、今のようになり、余裕も無く、色々なことが思うように行かず、随分と苦しんだことがありました。その頃の私は、自暴自棄とまでは言いませんが、どこかへぶつかって傷ついたり、誰かを責めて傷つけたら、何をしても、傷口が広がるばかりでした。少々可愛すぎる言い方ですが、「迷子の子猫ちゃん」状態だったので。要は、当時の私は、誰に対しても求めるばかりだったの

です。これは、呼吸に例えるならば、吸うことばかり考えていたということですね。そして、ある時気づきました。吸うばかりでなく、吐くことこそ重要なのだと知ったのです。息を吐ききると、自然と吸気が入ってくる。少しも無理をする事などなかったのです。呼吸から生き方まで教えられた、そんな気分でした。それから、呼吸を変える努力をしてみました。以来、呼吸を大切にし、そのことに、常に思いを寄せるようになっていきます。

私の所属する浄土宗では、座禅を行いません。そこで、書物を購入し、坐禅の呼吸法を勉強しました。武道の呼吸法、ヨーガの呼吸法など、何種類かの呼吸法を学びました。

師についていませんが、自己流ではありますが、「呼吸」は、よりよい人生を送るための大事なアイテムであることに気づきました。こんな言葉もあるので「自分のしている呼吸のよ

うな人間になる」。私ごとになりませんが、大きなプレッシャーを感じたときなど、気がつくのと、無意識に呼吸を整えようとしている私がおります。これは、ありがたい習慣が身に付いたな、と思っております。

人と生まれて一番初めの仕事は「息」を吐くこと。それが赤ちゃんの産声です。この世で最後に「息」を吸うこと、これを「息を引き取りました」と言う。これが人生最後の仕事です。

ところが、岩波書店が毎月送ってくる『図書』という冊子に、「呼吸と吸気」について書かれているものがありました。寄稿者は、作家で、鳥取赤十字病院内科医の、徳永進先生。ドクターの文章です。

「おぎゃあ」と言う声は呼吸（吐く）によって発生するので、初めての息は呼吸、と思うと、実は違う。頭部も胸部も産道でしっかりと圧迫されるので、肺に残るのはわずかな羊水。産道

脱出した瞬間、身震いしながら、宇宙の空気を吸う第一吸気から始まる。それが「おぎゃあ」になる。羊水に浮かんでいる間、人は吞気。自分で息をしてない。

最後の呼吸については、いろいろな死があり、一概には言えないが、観察を続けていると、多くの人は最後の吸気をしたあと、センサーにも引つかからないくらい静かな呼吸（吐く）をし、今まで借りていた空気を宇宙に返していく。

これまでの認識とは逆になります。生きることは「息をする」こと。これは間違いない。そして呼吸は、自分の意思でコントロールできるようになります。

試験開始の時、大きく深呼吸をして始めてみて下さい。成績に変化が出るかも知れません。私は「呼吸を変えれば人生が変わる」と思っている一人です。



# まず人間が習慣をつくり

## 次に習慣が人間をつくる

### 「続ける」

人は、この世に生を受けて今に至るまで、実に様々な行動・活動を続けている。例えば、生命維持に必要な活動（「呼吸」「起床・就寝」「食事」など）に始まり、生命維持以外の活動（「仕事」「人との繋がり」「自分の趣味・知的好奇心」など）まで、様々なことを続けることで身体的・精神的に成長していく。ここで、特に後者について、改めて「なぜ、人は続けるのか」を考えてみることにした。

一つ目は、「心の余裕」である。最近「ルーティーン」という言葉をよく耳にするが、一日の中の作業的な行為、あるいは何かをする前の一定の行為として使われる。私の一日で言えば、朝五時に起床し、学校で業務を遂行し、帰宅するといふ一連の生活リズム、これ

は「ルーティーン」であろう。また、一日の中で部分的に時間を管理する。「まず最初にこれを行って、次は……」という段取りをすることににより、「時間に追われる」ことがなくなる。それによるストレスが軽減され、「心の余裕」に繋がるのである。

二つ目は、「自信」である。勉強でも運動でも、「自信」は「練習した量」というのも過言ではない。勉強を例に挙げれば、毎日の自主学習である。漢字、英単語、計算を、毎日、どんなことがあろうとやると決意する。やることは単調で、つまらない作業かもしれない、諦めずに行うと、時間はかかるが、必ず良い結果に繋がる。学生の頃の話であるが、英語の勉強（本文書き取りと意味調べ）を毎日やると決意した。とにかく毎日、英文の書き取りや

意味調べを行った。日々、沢山の誘惑もあった。しかし、「今やらなければ……」という思いと、自分の目標を達成したいという思いで、とにかく続けた。すると半年くらい経った頃、急に内容がわかるようになった。時間はかかったが、形になって表れた時、次の目標に挑戦しようと思えた。その後は、英語が一番得意な科目になった。

三つ目は、「気づき」である。仕事に就き「続けること」が特に大切だと感じるのは「挨拶、返事、姿勢」である。当たり前のことではあるが、行為そのものに意味を持たせることを意識し、実践し続けた。すると、相手や周囲の反応が変わってきた。些細な、小さな実践こそが、勇気や感謝を気付けさせてくれた。何年前かに聴いた、ある講演会でのやりとりを、生徒とすることがある。「失敗の反対は？」と言うと、大抵の生徒は「成功です」と答える。それを、「半分正解で、半分不正解だと説明する。「失敗の反対は、何もしないこと」。」そんなやりとりから、続ける事の重要性の話に繋がるのだ。続けていけば必

ず挫折するし、失敗はつきものだろう。しかし、続けているからこそ、失敗したからこそ気付けることもある。そこで何かに気付いて、自分を変えればよいのである。

結論として、時に自分を戒めたり、自分の気力を奮い立たせたり、また、自分を律するために、人は「続ける」のだと言える。改めて考えるほどのことでもないのかもしれないが、「継続は力なり」。私の座右の銘であるが、これは、そのような意味なのだろうと思うのだ。

### 気持ちの置き場

【数学科 猪熊唯史】

一学期も半分が過ぎ、それぞれが、自分の学年に慣れて、活動が本格化する時期に入ります。しかし、ともすると、「我が我が」の気持ちばかりが先走り、時に他人を思いやる気持ちに欠けてしまいがちなのも、この時期です。

友だちとの食い違いで落ち込んだり、う

まく周囲となじめずに悩んだりしたら、カウンセラー室に来て下さい。話をするだけで、ずいぶんすっきりするものです。いつでも、両手を広げて待っていますよ。

【カウンセラー室】



桐生錦町一丁目 盛運橋薬局前

■樹徳コミュニティセンター「み法」

6月の行事予定

- (1) ラタンアート工房「桐生藤工藝」  
主催 野村ナナ子さん 2.23日(木)
- (2) 七草ゼミナール塾 主催 上野文雄さん 16日(木)
- (3) 販売実習 (4, 11, 25日の各土曜日)
  - ①「相田みつを美術館」取扱い商品
  - ②「星野富弘美術館」取扱い商品
  - ③ 東北復興支援商品 (缶詰等)

# 宿泊オリエンテーション 梅田大滝山荘にて新入生が宿泊研修に臨む

◆4月14日（木）から27日（水）の日程の中で、新一年生の宿泊研修が実施されました。グループエンカウンターや鳴神山登山などを経験しつつ、新しい仲間たちと共に過ごす一泊二日は、彼らにとって、いわば心の解体工事。自ら創った心の壁がなくなった今、彼らの心にはどんな新しい風が吹いていることでしょう。



▲西山先生SC



大滝山荘到着！▲



▲開校式



▲グループエンカウンター▼



▲鳴神山登頂！



▲鳴神山登山▼



▼校長講話



緑蔭祭・音楽法要



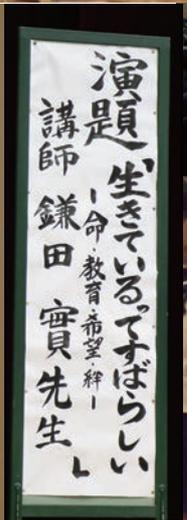
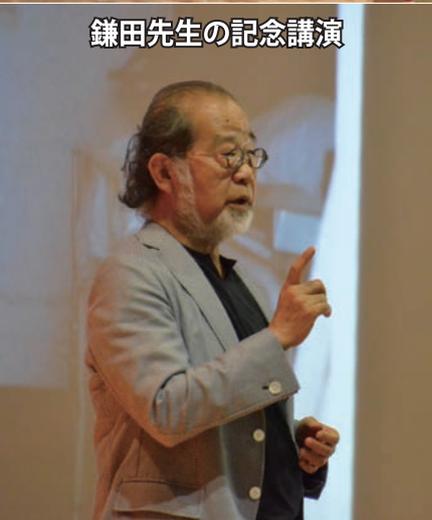
献灯



緑蔭祭・全景



鎌田先生の記念講演



献香

## 緑蔭祭

### 今ある命に感謝。

昭和二十二（一九四七）年、キャサリン台風が来襲し、関東圏に深刻な被害をもたらしました。本校周辺もこの大災害によって甚大な危機に瀕したのです。この時、二代校長である野口健策先生が、身を賭して樹徳教育の再建に携わり、その生涯をかけた実践により、危難を乗り越えました。

今、私たちが生きているのは、太古の昔より受け継がれてきた命のパトンが、一度たりとも途切れたことがなかったからです。そして、そんな私たちが生かしてくれるすべての「いのち」に感謝をし、精一杯生きていくことを誓うことが、緑蔭祭の重要な目的なのです。

# 高校総体

第51回群馬県高等学校総合体育大会が5月13日～15日  
(陸上競技は19日～22日)に開催され、本校生は今年も大活躍しました!



## 相撲

- 団体 優勝 (9年連続34回目)
- 個人 準優勝 石原憂
- 個人 第3位 依田亘平
- 個人 第3位 櫻井怜司

## 卓球

- 男子学校対抗 第3位
- 男子シングルス 優勝 野村柁人
- 男子シングルス 第2位 長沼龍之介
- 男子シングルス 第8位 小林良平



- 女子学校対抗 優勝 (3年連続6回目)
- 女子シングルス 優勝 石井あみ
- 女子シングルス 第6位 櫻井 楓
- 女子ダブルス 優勝 南雲・櫻井組
- 女子ダブルス 第3位 杉木・石井組

## 少林寺拳法



- 女子組演武 優勝 坂上由美・池谷早貴
- 女子組演武 第3位 小林柚葉・澤田 燎
- 女子組演武 第5位 高宮美鈴・松島玲奈
- 女子組演武 第6位 高橋美衣・下崎沙絵
- 男子組演武 第3位 本間和希・新井勇弥
- 男子組演武 第5位 菅谷景都・黒崎研吾
- 女子単独演武 第4位 朝回春妃
- 女子団体演武 第2位 坂上由美・朝回春妃・池谷早貴
- 女子団体演武 一場美緒・高宮美鈴・高橋美衣
- 女子団体演武 小林柚葉・澤田 燎
- 男子団体演武 第3位 本間和希・新井勇弥
- 男子団体演武 遠藤有輝也・菅谷景都・土田君丸
- 男子団体演武 岡崎将大・福田謙朝・黒崎研吾



## 陸上競技

- 男子総合成績 第3位
- 男子棒高跳 優勝 小林賢佑 4m70
- 男子棒高跳 第3位 三輪凌大 4m50
- 男子棒高跳 第5位 金子恋寿 4m40
- 男子800m 第2位 大類康靖 1分55秒99
- 男子3000m障害 優勝 森山真伍 9分23秒60
- 男子1500m 第2位 中山大樹 3分51秒28

### 第2学年担任紹介

コース	クラス	担任・副担任	
男子部 総合	J 1	村上良太	
	J 2	花房拓也	
	J 3	保科和彦	
	J 4	上田敏之・木村喜文	
	特進	SS (主任) 狩野剛・佐伯雄二郎	
	特進	K1 古澤孝・藤生義教	
	特進	K2 山崎覚	
	進学	S 下山裕大	
	女子部 総合	j 1	塚田政利
		j 2	齊藤利一・(主任) 柴田千枝子
j 3		禪野卓菜	
特進		ss 狩野剛・佐伯雄二郎	
特進		k 内田富明・小林弥生	
一貫校	5-1	(主任) 進藤友宏	
	5-2	家住誠・須藤喜代子	

### 第二学年 学年目標

- 進路の決定と学力
- (教養・知識・技術・技能)の向上
- 健やかな身体と、健全な判断力を養う



- 男子5000m 第3位 中山大樹 14分39秒13
- 男子5000m 第4位 森山真伍 14分39秒22
- 男子5000m 第6位 大澤佑介 14分45秒21
- 女子砲丸投 第4位 柏嶋侑里香 10m18

# 一貫校

中学校

# だより

## ◆中学生の三つの出会い

今回は、皆さんの夢や志を実現する上で大きな影響を与えるものについてとりあげます。中学生の三つの出会いのことです。

一つ目は、友との出会いです。江戸時代の偉人橋本左内は『啓発録』の中で、正義感、勇気があり、実行力のある友、つまり益友こそ志を実現する者には欠かせない存在であると述べています。二つ目は、良き師との出会いです。授業で接する先生以外にも、一貫校ですら多くの卒業生を送り出した経験豊富な素晴らしい先生がいます。皆さんの教えを請う姿勢が、先生方の意外な一面を知り、同時に勉学への扉を開いてくれます。恩師と呼べる先生をぜひ見つけて下さい。

三つ目は、自分との出会い、新たな自分の発見です。青年期は「疾風怒濤の時代」と呼ばれます。未知な様々な問題が嵐のように襲いかかります。心を乱され、魂

が彷徨（ほうこう）するところからそのように呼ばれます。また、心の中にも一人の私を強く意識し始めます。これが「自我」というものです。人間は自分と向き合い、悩み考えることをとおして大人になっていきます。新たな自分を発見し、育てていく人間形成の場が中学校なのです。安易に周囲に同化することなく、自分で人生を切り拓く生き方（実存主義的態度）が必要です。

そのためには、毎日の授業を大切にし、進んで知識を吸収し、何事も謙虚に学ぶ中学生となることです。新学期が始まり二ヶ月、三つの出会いの意味を考えてほしいと思います。出会いをどのように活用できるかは、一人ひとりの自覚と行動にあります。頑張れ中学生、本年度のスローガンは「行動する樹徳」です。

（顧問 齋藤哲也）

## ◆第一学年山荘合宿

一年生にとつての初めての宿泊行事、梅田での山荘合宿が四月二十七・二十八日に行われました。



### 《体験記》

**私**は、中学校で初めての合宿で、様々なことを体験した。

一番印象に残ったのは鳴神山登山だ。山荘から鳥居までは本当に大変だった。歩く道のりが長いうえ、岩や木の枝も多く、何人かは転んだりした。半ばまででも疲れてしまったが、私は先生や友達とはげまし合い、なんとかたどり着くことができた。その時は喜びでいっぱいだった。寒くても暑くても転びそうでも、何度も肩をかしてくれ、何度も声をかけてくれた友達がいいた。支えてくれる仲間は大切な存在だと、改めて実感できた。下山の時はひざががくがくして、足も痛かった。聞いていたとおり、登るより下る方が危なかったけれど、二組の子とも協力しながら、休み休み下ってきた。山登りはつらくてしんどいだけかと思っていたけれど、とても楽しく過ごせた。

他に心に残っているのは、カウンセラーの

高久保先生とのエンカウンターだ。心の実験やあいさつじゃんけんなど、不思議な感じがした。心から「前後、左右に動け」「止まれ」と思うと、操れるような気がした。高久保先生は、「だから前向きに生きて下さい」といっていた。私はそれとおりに思った。友達にプラス思考の人がいる。その子は体育の時間、難しい技をその考えでやってみられた。心は、簡単に操作できるから、逆に壊れやすいのだということも学んだ。

夜には、他人への配慮、山登りでの協力とたくさんのお話を勉強した。先生方が何度も言うように、次へ活かしていきたい。一年一組 長尾 結希

## 樹徳中高一貫教育

### 学校見学会

6/18 (土)  
9:00~11:30

お問い合わせ等は、  
前日迄にお電話で。  
TEL 0277-45-2257

# 幼稚園だより

## 「折り返しの六月 課題の克服を！」



むし歯予防教室（年長さん）

第1回お誕生会

じりじりと夏の太陽がでるかと思えば、肌寒く冷たい雨の日も…。六月の天気は気まぐれですが、そろそろ梅雨の季節。大人にはうっとろしい梅雨ですが、子どもたちがピッと立って好奇心のアンテナには、次々と興味深い現象が！水たまりに映る周りの景色、葉陰から顔を出すアマガエル、木の幹や滑り台にできる小さな滝や川。六月は雨にちなんだお話や歌など、雨の季節ならではの遊びと学びにしたいと思います。

### 「思い立った

### 日は吉日」

○東路と言えば遠きに似たれども  
ただ一と足の踏み出しにあり  
○千里ゆく道も初は一と歩み  
低きよりして  
高く登りつ  
六月に入り、今年もはや

半ばを過ぎようとしているが、失敗したことが多かったことを反省するが、あとの半年は、これを取り返さなければならぬ。そのためにはすぐ実行することを中心がけなければならぬ。善いことや正しい道と知ったならば、すぐにその方針に向かって進むことである。貯蓄が必要だと思ったら、その日のうちに一銭の預金をしなさい。また、学問が大事だと思ったら、その日のうちに本を一ページでいいから読みなさい。

〈新渡戸稲造〉

―武士道を貫いて生き  
るための格言集―より

### 「夢は大きく

### 根はふかく」

幼稚園にとって、戦後最大の改革となった「子ども子育て支援新制度」開始から一年がたちました。

先日、群馬幼総会・意見交換会で、群馬県庁こども未来部の中村部長と話をする機会がありました。「少子化は私立幼稚園にとって本当に大変です」と話す中、部長は「樹徳の教育はよく知っていますよ。子どもが減ったっていいじゃないで

すか。樹徳は創設以来確固たる理念があり、それを大切に自信をもって、樹徳の幼児教育を進めてください」と。強く激励されてしまいました。そのとき、樹徳の伝統と歴史を再確認し、子どもにとって善いことなのか、正しい道（選択）なのか、もう一度新制度への「移行」について、考えていこうと強く思いました。こればかりは「思い立った日が吉日」とは行きませぬ。理事長先生はじめ、関係皆様と慎重に進めていくつもりです。

### 「子どもの未来を

### 考える幼児教育」

新聞等でも報じられていますが、技術革新により、今、目の前にいる子どもが成人する二十年、三十年後には、さらなる産業の自動化やルーティンワークの減少が見込まれます。そこでは、より創造的に判断をしていくような仕事が増えます。基盤となる能力は情動的な資質とも言われてきました。より具体的には自己調整、主体性の感覚や言語能力、集中して課題に取り組む力などであることも

分かってきています。幼稚園として、先を見据えての教育実践をしていかなければなりません。

これらのことを踏まえ、今いる子どもの未来を考えた、教育課程の作成・実施・改善に努めていきたいと思っています。

関係者皆様方のご支援・ご協力よろしくお願いいたします。

園長 瀬谷 茂

### 「入園児募集」

◎満三歳児（二歳児含む）の入園は、四月より随時受け付けております。二歳になつたら是非問い合わせください。

◎第一回見学・説明会

- ・ 期日 七月九日（土）
- ・ 時間 十時三十分～
- ・ 場所 樹徳幼稚園  
園見学や教育方針・特色ある活動・園生活・園行事・費用等について、説明します。

是非、お出かけください。お待ちしております。

住所 桐生市広沢町

三丁目四七五

電話 0277-5531

5571

詳細はホームページ

<http://www.jufoku.ed.jp/>

Kinder

## 6月(正語)の行事予定

日	曜日	高等学校(本校)	一 貴 校	幼 稚 園
1	水	更衣 前期教育実習開始 マイトリー基金拠金日	更衣	更衣 教育実習生受け入れ(～23日) 英語・文字(年長)
2	木	県校長会 歯科検診④ 宗門校長会(～3日)		体育・文字(年中)
3	金	授業料納入日 遠足		避難訓練 保育料納入日 幼交連会議④
4	土	漢字検定① 英語検定①一次 3年進研マーク模試(～5日)		
5	日			わんぱく相撲大会9:00(希望者)
6	月	朝礼	挨拶運動	プール開き ダンス・文字
7	火	後援会執行部会 後援会役員会① 後援会地区連絡委員会 後援会新旧役員懇親会	授業参観日①	3年目経験者研修
8	水	I T S 研修① 珠算競技(～10日)		群幼幼主任研修会 英語・文字(年長)
9	木	歯科検診⑤		体育・文字(年中)
10	金	内科検診④ 県高P連総会(～11日)	英語検定4・5級	幼交連会議⑤
11	土	1～3年学研模試(特別課外補習受講者)	英語検定2～3級	茶臼山親子登山
12	日	日商簿記検定①		中央ロータリー サツマイモの苗植え (7:00～ 希望者)
13	月	LHR 検尿(追加・再) 漢字練習開始 3年Jj組三者面談(～17日)	挨拶運動	代休(茶臼山親子登山) 預かり保育 教育実習(～24日)
14	火			園外保育(昆虫の森)
15	水	交通安全マナーアップ運動①	交通安全マナーアップ運動①	お茶のお稽古② 英語・文字(年長)
16	木			体育・文字(年中)
17	金	私学振興会役員会	漢字検定①	幼交連会議⑥
18	土	GTEC for STUDENTS(1～3年進学クラス)	学校見学会② 数学検定①	
19	日	ペン字検定① 第24回聖歌隊定期コンサート		
20	月	朝礼	挨拶運動	教育実習(～1日) リズム・文字
21	火	七都県高等学校進学問題協議会 樹の根の会総会(18時～)		ジャガイモ掘り
22	水	大掃除 北関東新任研修(～24日)		開園記念日(休園日)
23	木			体育・文字(年中)
24	金	関東地区私学保護者会連合会理事会(横浜)		幼稚園教育課程研究協議会 幼交連会議⑦
25	土		卒業生による生き方教室	
26	日	全商簿記実務検定①		
27	月	LHR	早朝自主学习(～7/6)	年少保育参観 リズム・文字
28	火	中学校長会進路指導部との連絡協議会 学校説明会(太田宝泉行政センター)		年中保育参観
29	水	学校説明会(太田市学習文化センター)		年長保育参観(保護者会) 英語・文字(年長)
30	木	出欠統計提出 女子制服アフターサービス 学校説明会(伊勢崎市民プラザ)		体育・文字(年中)

※ 1日は高等学校・一貴校・幼稚園の校内安全点検日です



樹徳高等学校  
樹徳中学校  
樹徳幼稚園

〒376-0023 群馬県桐生市錦町一丁目1番20号  
TEL 0277-45-2258 FAX 0277-47-1671

〒376-0022 群馬県桐生市稲荷町4-12  
TEL 0277-45-2257 FAX 0277-45-2262

〒376-0013 群馬県桐生市広沢町三丁目4475  
TEL 0277-53-5571 FAX 0277-53-5572

Web [www.jutoku.ed.jp](http://www.jutoku.ed.jp) Mail [office@po.jutoku.ed.jp](mailto:office@po.jutoku.ed.jp)

発行責任者 野口秀樹  
印刷所 太陽印刷工業(株)

夢は大きく 根はふかく